

令和6年度 江戸川区立北小岩学校 人権教育 年間指導計画（第1学年）

年間指導計画作成のための留意点（東京都教育委員会発行『「人権教育プログラム（学校教育編）」p14 人権教育の年間指導計画（例）」を必ず参照し作成すること）

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科・読書科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、個別的な視点からの取組を中心に関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、互いに協力し合って学習に取り組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置付ける。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	自分の大切さを認めることを中心とした指導。			他の人の大切さを認めることを中心とした指導。			互いの大切さを認めることを中心とした指導。			1年間の自己の成長を確認する。		
	児童相互の関係を把握する。			児童理解を深め、教師と児童、児童相互の望ましい人間関係を築く。								
各教科・読書科	算数：一人一人を大切にすきめ細やかな指導。		生活科：植物や生き物を大切にしようとする態度を養う。		国語：登場人物の気持ちを想像することを通して、想像力を育む。		図工：友達の作品を見て良いところを伝える。		体育：友達と仲良く運動しようとする態度を養う。		音楽：友達と一緒に音楽づくりに取り組む。	
	読書指導（通年）：人権課題に関する本を読むことを通して、人権課題についての理解を深めさせる。											
特別の教科 道徳	気持ちのよい挨拶 世界の挨拶を知り親しむ態度を養う。「外国人」			生命の尊さ 命の大切さを理解し、生命尊重の態度を養う。			親切、思いやり 温かい心で接し、親切に行動する態度を養う。「高齢者、障害者」					
総合的な学習の時間												
特別活動	人権の花運動：花を育てることを通して、生き物を大切にしようとする心を養う。						なかよし班活動（月1回）、なかよし班給食（1・2学期）：異学年交流を通して、よりよい人間関係を築く。					
その他	ふれあい月間			家庭訪問：家庭との連携を密にし、児童一人一人の実態を把握する。			個人面談：家庭との連携を密にし、児童一人一人の実態を把握する。			ふれあい月間		

「 」=個別的な視点からの取組（末尾の「 」内は人権課題） ↔ =関連的な指導 =多様性を理解し、尊重し合う態度を育成することを重点とした指導。

令和6年度 江戸川区立北小岩学校 人権教育年間指導計画（第2学年）

年間指導計画作成のための留意点（東京都教育委員会発行『「人権教育プログラム（学校教育編）」p14 人権教育の年間指導計画（例）」を必ず参照し作成すること）

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科・読書科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、個別的な視点からの取組を中心に関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、互いに協力し合って学習に取り組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置付ける。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	自分の大切さを認めることを中心とした指導。			他の人の大切さを認めることを中心とした指導。			互いの大切さを認めることを中心とした指導。			1年間の自己の成長を確認する。		
	児童相互の関係を把握する。			児童理解を深め、教師と児童、児童相互の望ましい人間関係を築く。								
各教科・読書科	算数：一人一人を大切にすきめ細やかな指導。		生活科：植物や生き物を大切にしようとする態度を養う。		国語：登場人物の気持ちを想像することを通して、想像力を育む。		図工：友達の作品を見て良いところを伝える。		体育：友達と仲良く運動しようとする態度を養う。		音楽：友達と一緒に音楽づくりに取り組む。	
	読書指導（通年）：人権課題に関する本を読むことを通して、人権課題についての理解を深めさせる。											
特別の教科 道徳	公正、公平 誰に対しても公正、公平に接することができる態度を養う。「障害者」		親切、思いやり 身近な人に温かい心で接し、親切にすることができる態度を養う。								生命の尊さ 生命について様々に考えることができる態度を養う。	
総合的な学習の時間												
特別活動	人権の花運動：花を育てることを通して、生き物を大切にしようとする心を養う。						なかよし班活動（月1回）、なかよし班給食（1・2学期）：異学年交流を通して、よりよい人間関係を築く。					
その他	ふれあい週間		家庭訪問：家庭との連携を密にし、児童一人一人の実態を把握する。				個人面談：家庭との連携を密にし、児童一人一人の実態を把握する。		ふれあい週間			

「 」=個別的な視点からの取組（末尾の「 」内は人権課題） ↔ =関連的な指導 =多様性を理解し、尊重し合う態度を育成することを重点とした指導。

年間指導計画作成のための留意点（東京都教育委員会発行『「人権教育プログラム（学校教育編）」p14 人権教育の年間指導計画（例）」を必ず参照し作成すること）

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科・読書科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、個別的な視点からの取組を中心に関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、互いに協力し合って学習に取り組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置付ける。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
学級経営	自分の大切さを認めることを中心とした指導。			他の人の大切さを認めることを中心とした指導。			互いの大切さを認めることを中心とした指導。			1年間の自己の成長を確認する。			
	児童相互の関係を把握する。			児童理解を深め、教師と児童、児童相互の望ましい人間関係を築く。									
各教科・読書科	算数：一人一人を大切にすきめ細やかな指導。		理科：植物や生き物を育て、命を大切にしようとする態度を養う。		国語：命の大切さについて考えることを通して、思考力や想像力を育む。		図工：友達作品を見て良いところを伝える。		体育：友達と励まし合って運動しようとする態度を養う。		社会：自分たちができることを考える。		音楽：友達と一緒に音楽づくりに取り組む。
	読書指導（通年）：人権課題に関する本を読むことを通して、人権課題についての理解を深めさせる。												
特別の教科 道徳	親切、思いやり相手のことを思いやり、すすんで親切にすることができる態度を養う。			伝統と文化の尊重地域や我が国の文化のよさを知り、それらを守ってきた人々を大切にしようとする態度を養う。			生命の尊さ生命の尊さについて様々な視点で考えることができる態度を養う。						
総合的な学習の時間	地域：小松菜栽培を通して、地域の一員として文化や自然を継承するために力を注ぐ人々の思いを考えさせる。												
特別活動	人権の花運動：花を育てることを通して、生き物を大切にしようとする心と態度を養う。						なかよし班活動（月1回）、なかよし班給食（1・2学期）：異学年交流を通して、よりよい人間関係を築く。						
その他	ふれあい月間			家庭訪問：家庭との連携を密にし、児童一人一人の実態を把握する。			ふれあい月間						

「 」=個別的な視点からの取組（末尾の「 」内は人権課題） ↔ =関連的な指導 =多様性を理解し、尊重し合う態度を育成することを重点とした指導。

令和6年度 江戸川区立北小岩学校 人権教育年間指導計画（第4学年）

年間指導計画作成のための留意点（東京都教育委員会発行『「人権教育プログラム（学校教育編）」p14 人権教育の年間指導計画（例）」を必ず参照し作成すること）

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科・読書科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、個別的な視点からの取組を中心に関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、互いに協力し合って学習に取り組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置付ける。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	自分の大切さを認めることを中心とした指導。					他の人の大切さを認めることを中心とした指導。			互いの大切さを認めることを中心とした指導。			
	児童相互の関係を把握する。		児童理解を深め、教師と児童、児童相互の望ましい人間関係を築く。						1年間の自己の成長を確認する。			
各教科・読書科	算数：一人一人を大切にすきめ細やかな指導。	理科：春の生き物探しを通して、命の大切さを考えさせる。				国語：命の大切さについて話し合うことを通して、思考力や想像力を育む。	図工：友達作品を見て良いところを伝え合う。	体育：友達と励まし合って運動しようとする態度を養う。	社会：自分たちができることを考える。		音楽：友達と一緒に音楽づくりに取り組む。	
	読書指導（通年）：人権課題に関する本を読むことを通して、人権課題についての理解を深めさせる。											
特別の教科 道徳	個性の伸長 自分らしさをどのように伸ばすかを様々な視点で考える態度を養う。					友情、信頼 いじめのような行為をなくそうとする態度を養う。			国際理解 他国の人々や文化のよさに気付き親しんでいこうとする意識を高める。「外国人」			
総合的な学習の時間	福祉：住みよい地域にするための様々な取り組みや、力を注ぐ人々の思いを考えさせる。											
特別活動	人権の花運動：花を育てることを通して、生き物を大切にしようとする心を養う。											
	なかよし班活動（月1回）、なかよし班給食（1・2学期）：異学年交流を通して、よりよい人間関係を築く。											
その他			家庭訪問：家庭との連携を密にし、児童一人一人の実態を把握する。						個人面談：家庭との連携を密にし、児童一人一人の実態を把握する。			
	ふれあい月間					ふれあい月間						

「 」=個別的な視点からの取組（末尾の「 」内は人権課題） ↔ =関連的な指導 =多様性を理解し、尊重し合う態度を育成することを重点とした指導。

年間指導計画作成のための留意点（東京都教育委員会発行『「人権教育プログラム（学校教育編）」p14 人権教育の年間指導計画（例）」を必ず参照し作成すること）

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科・読書科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、個別的な視点からの取組を中心に関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、互いに協力し合って学習に取り組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置付ける。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	自分の大切さを認めることを中心とした指導。			他の人の大切さを認めることを中心とした指導。						互いの大切さを認めることを中心とした指導。		
	児童相互の関係を把握する。			児童理解を深め、教師と児童、児童相互の望ましい人間関係を築く。						1年間の自己の成長を確認する。		
各教科・読書科	算数：一人一人を大切にすきめ細やかな指導。	理科：受け継がれる命について考える。		国語：人間の尊厳について考えることを通して、思考力や想像力を育む。		図工：友達作品を見て良いところを伝え合う。	体育：誰もが楽しく運動できるよう工夫する態度を養う。		社会：自分たちができることを考える。	音楽：友達と一緒に音楽づくりに取り組む。		
	読書指導（通年）：人権課題に関する本を読むことを通して、人権課題についての理解を深めさせる。											
特別の教科 道徳	個性の伸長 自分らしさをどのように伸ばすかを様々な視点で考える態度を養う。			公正、公平 いじめのない社会の実現のために正義ある姿で接しようとする意識を高める。						国際理解 他国の人々や文化への関心を高め、国際理解を求めようとする意識を高める。「外国人」		
総合的な学習の時間	環境：稲作栽培の取り組みや環境問題と自分たちの生活の関わりを考えさせる。											
特別活動	人権の花運動：花を育てることを通して、生き物を大切にしようとする心を養う。						なかよし班活動（月1回）、なかよし班給食（1・2学期）：異学年交流を通して、よりよい人間関係を築く。					
その他	ふれあい月間			家庭訪問：家庭との連携を密にし、児童一人一人の実態を把握する。			ふれあい月間			個人面談：家庭との連携を密にし、児童一人一人の実態を把握する。		

「 」=個別的な視点からの取組（末尾の「 」内は人権課題） ↔ =関連的な指導 =多様性を理解し、尊重し合う態度を育成することを重点とした指導。

年間指導計画作成のための留意点（東京都教育委員会発行『「人権教育プログラム（学校教育編）」p14 人権教育の年間指導計画（例）」を必ず参照し作成すること）

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科・読書科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、個別的な視点からの取組を中心に関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、互いに協力し合って学習に取り組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置付ける。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
学級経営	自分の大切さを認めることを中心とした指導。			他の人の大切さを認めることを中心とした指導。			互いの大切さを認めることを中心とした指導。			6年間の自己の成長を確認する。			
各教科・読書科	算数：一人一人を大切にすきめ細やかな指導。		理科：生物同士のつながりについて考える。		国語：人間の尊厳について話し合うことを通して、思考力や想像力を育む。		図工：友達の作品を見て良いところを伝え合う。		体育：誰もが楽しく運動できるよう工夫する態度を養う。		社会：自分たちができることを考える。		音楽：友達と一緒に音楽づくりに取り組む。
特別の教科 道徳	個性の伸長 自分らしさをどのように伸ばすかを様々な視点で考える態度を養う。				公正、公平 いじめのない社会の実現のために正義ある姿で接しようとする意識を高める。				国際理解 他国の人々や文化への関心を高め、国際理解を求めようとする意識を高める。「外国人」				
総合的な学習の時間	防災：自分たちにできる地域の防災対策を考えさせる。												
特別活動	人権の花運動：花を育てることを通して、生き物を大切にしようとする心を養う。						なかよし班活動（月1回）、なかよし班給食（1・2学期）：異学年交流を通して、よりよい人間関係を築く。						
その他	ふれあい月間		家庭訪問：家庭との連携を密にし、児童一人一人の実態を把握する。				ふれあい月間		個人面談：家庭との連携を密にし、児童一人一人の実態を把握する。				

「 」=個別的な視点からの取組（末尾の「 」内は人権課題） ↔ =関連的な指導 =多様性を理解し、尊重し合う態度を育成することを重点とした指導。

